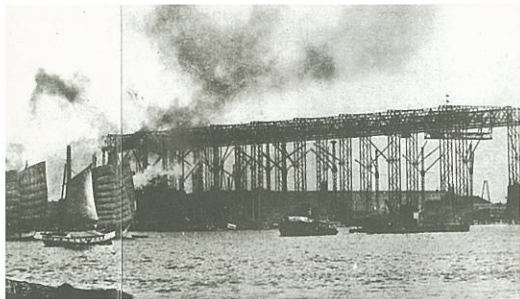


—臨海産業の誕生—



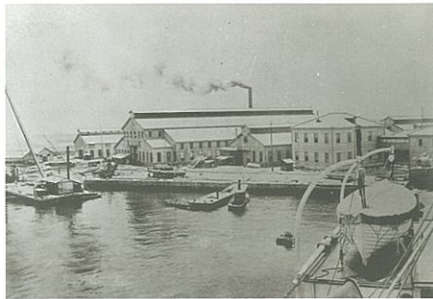
川崎造船所（現川崎重工業神戶工場、明、19.5創立）

東京築地で川崎造船所を開業していた川崎正藏が、明治19年政府から官営兵庫造船所の払い下げを受けて創業した。



神戸製鐵所（明、38.9創立、明治45年頃の本社）

明治38年東京の書籍商小林清一郎が阪ノ派に小林製鋼所として創業。明治38年9月鈴木商店の経路に移り、「神戸製鋼所」と改称、同44年株式会社として独立した。



三菱造船所（現三菱重工業神戶造船所、明、38.7創立）

工場の地質が乾ドックに適さないところから、イギリスのクラーク・アンド・スタンフィールド商會が設計し、三菱長崎造船所で建造した浮ドックをもって業務を開始した。



大阪商船株式会社神戸支店（現大阪商船三井船舶神戶支店、明、19.8開業）

明治17年、関西を中心とした小船主の合同により設立され、瀬戸内海を中心とする近海航路から出発して遠洋航路に進出、日本郵船と並ぶ船社となった。